

平成27年度 特別推進研究 審査結果の所見

<p>研究課題名</p>	<p>量子ドット・ナノ共振器多重量子結合系における固体量子電気力学探究と新ナノ光源創成</p>
<p>研究代表者</p>	<p>荒川 泰彦</p>
<p>科学研究費委員会 審査・評価第一部会 における所見</p>	<p>本研究は、共振器量子電気力学を用いて、多重量子結合系を構築し、新たな光デバイスの創成を目指すものである。</p> <p>固体系である半導体量子ドットとフォトニック結晶微小共振器との組み合わせは、デバイスへの応用を視野に入れた場合に不可欠な技術である。応募者は、半導体量子ドットとその光学特性に関する研究分野の開拓者の一人であり、世界的にも非常に高い評価を得てきている。この分野の技術開発は世界的に競争が激化しているが、本提案では従来なかった革新的な技術の開発を目指しており、本研究の学問的及び技術的意義は大きく、得られる研究成果は、量子情報工学、光デバイス工学など広い分野において大きなインパクトと意義をもたらすことが期待される。</p> <p>以上により、特別推進研究として推進することが適当であると判断した。</p>